

進路だより 浜佐浜

Vol.3

令和6年12月18日発行
福島県立原町高等学校進路指導部

◆ 大学入学共通テストまであと30日！

1月17日（土）、18日（日）の大学入学共通テストまであと30日。いよいよ！という気持ちよりも、「どうしよう・・・」と焦りを感じている受験生のみなさんも多いかもしれません。不安や焦りだけにとらわれず、「今、ここ」で何をすべきなのか考え、1歩1歩着実に前に進んでいきましょう！

忘れてほしくないのは、「自分は一人ではない」ということ。あなたの周りには一緒に受験勉強をしてきた仲間がいます。友達がいます。応援している家族が、学校の先生がいます。周囲の人からの応援エネルギーを追い風に感じてほしいと思います。

◆ FIC 人材育成事業、地域理解講演会を開催

12月12日（木）に1年生を対象にイノベーションコースト構想事業の地域理解講演会が開かれました。3つの大学から先生方をお招きして各自が興味のある講演会を聞きました。大学で行う研究とはどのようなものなのか、グループワークやサイエンスカフェを先生方それぞれの研究についてもうかがいながら学びを深めた1年生です。講演会の内容から何を学び取れたのか、どのような刺激を受けたのかなど裏面の感想を読んでみましょう。



東北大学 窪田亜矢先生



福島大学（食農学類）平修先生



グループワークの様子



東京農業大学 半杭真一先生



福島大学（地域未来）江尻綾美先生



グループワーク後、発表の様子

◆ 2学期に行われた進路行事 あなたは何を学びましたか？

▶卒業生と語る会

8月26日（火）には、本校を卒業した大学生14人・大学院生3人を招きました。生徒自ら希望した2名の先輩から受験について、大学について、高校時代の過ごし方について等話を聞きました。大学生活の様子、取り組んでいる研究の紹介のほか、1,2年生の進路に関する悩みについての回答など普段は聞けない貴重な話をしてもらいました。生徒のみなさんの感想は裏面です。

▶令和6年度「復興知」事業 活動報告会（まるさん・あったまるアリーナにて）

8月29日（木）には、福島イノベーションコースト構想の事業の一環、「復興知」事業活動報告会に参加しました。浜通り地域等において人材育成基盤を構築する活動に関わったのべ21の大学の取組についての発表を聞きました。1,2年生がそれぞれ3つのステージ発表と、21ブースに分かれ行われた研究活動報告を聞きました。取り組みについて質問したり、試食会などもあり、活気的な報告会でした。生徒のみなさんの感想は裏面です。

▶ロボットテストフィールド研修

10月17日（木）に1学年の生徒全員を対象に福島ロボットテストフィールド研修が行われました。イノベーションコースト構想事業の一環で、地域の最先端技術について学ぶという目的で行われました。重作業の機械化を実現する先端ロボット工学技術の話の聞いたり、ロボットテストフィールド内のプラントをはじめとしたいろいろな施設についても学び、たいへん有意義な研修となりました。生徒のみなさんの感想は裏面です。

この他にも2学期全体を通して、自分の進路について深く考える機会が多くありました。冬休み中に一つ一つの行事を振り返り、今後の学校生活や人生に役立てていきましょう。なお、本校ホームページには、上記の進路行事の様子が分かるよう写真付きで紹介しております。ぜひ、アクセスしてご覧ください。



原町高校ホームページ

総合型選抜・学校推薦型選抜結果（指定校を除く） 12月16日現在

国公立大学 出願30 合格12 未決定9

私立大学 出願44 合格30 未決定1

総合型選抜合格率60.6% 公募推薦合格率56.4%

主な大学名

会津大学/お茶の水女子大学/茨城大学/筑波大学/福島大学/福島県立医科大学/宮城教育大学/山形大学/愛知工業大学/亜細亜大学/埼玉医科大学/順天堂大学/成城大学/洗足学園音楽大学/仙台大学/仙台青葉学院大学/多摩大学/デジタルハリウッド大学/東京農業大学/東北工業大学/東北福祉大学/東洋大学/法政大学/宮城学院女子大学/明治学院大学

※合格が内定した大学等の名称は、年末までに事務室脇の掲示板に掲示予定です！

卒業生と語る会の感想より

- ・一つ一つの大学によってメリット・デメリットがあるので、その中でも自分に合う大学を選び抜くことが大切であるとともに、難しいことだと思った。
- ・勉強時間を増やそうと思った。また、テストの勉強法はアウトプットを意識する、英語・数学は2、3週間前から勉強するなど次の定期考査から意識しようと思った。
- ・ボランティアや生徒会、部活動のなんでもいいから、3年間続けて、それを自信につなげると良いということを知った。
- ・部活を中途半端にすると、勉強も中途半端になるから、どちらも全力で取り組もうと思った。
- ・共テに向けた計画の立て方や、アドバイス、受験校を選ぶときの経験などを教えてもらい、とても勉強になった。
- ・「今の時間があるうちに」という言葉を何度も聞いて、今からできることに取り組んでいこうと思う。
- ・休み時間に単語を覚えるなど、小さい事を進めたりしていくことが大切だと分かった。
- ・オープンキャンパスなどに行き、環境や雰囲気を見に行くなど、自分からもっと進んで行動していこうと思った。
- ・推薦を取るなら80点から90点くらい定期考査で必要と言われて、もっと頑張らないといけないと感じた。
- ・模試の結果を見て終わるだけでなく、どういう問題をどう間違えたのか分析することを心がけていきたい。
- ・先輩が最後に「小さな目標は大きな目標より優れている」という言葉を聞いて、どんなに小さい目標でも毎日継続して目標を達成できるようにしていきたい。

令和6年度「復興知」事業 活動報告会の感想より

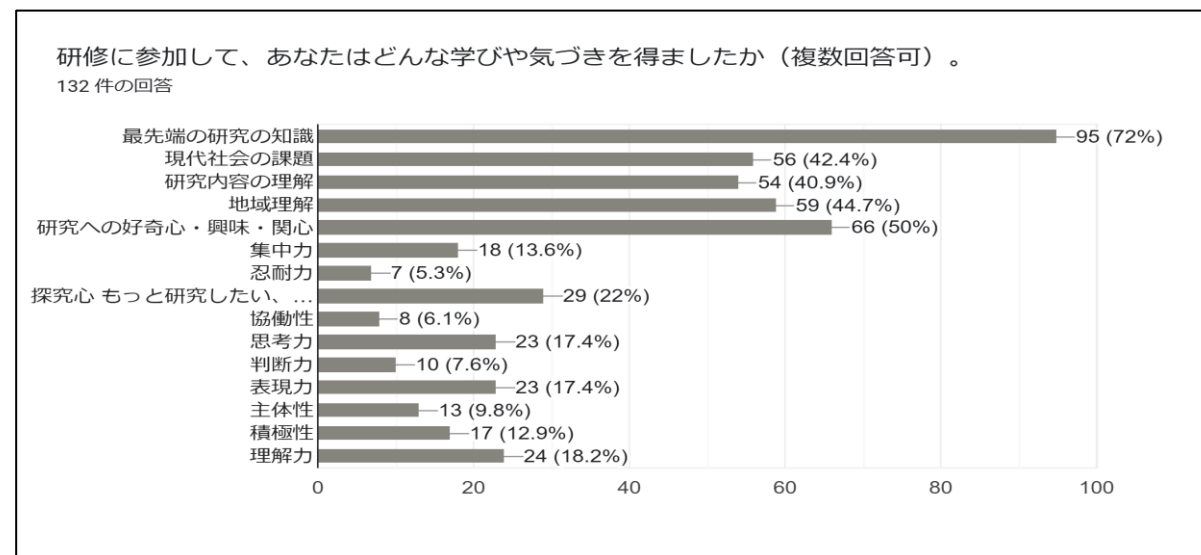
- ・大学でも復興のために行えることがたくさんあると知った。私も復興のために活動できることはないか考え、行動に移せるようになりたい。
- ・大学によって同じ学科でも取り組んでいることが異なるため、進路選択では自分で見て調べる必要があると思った。



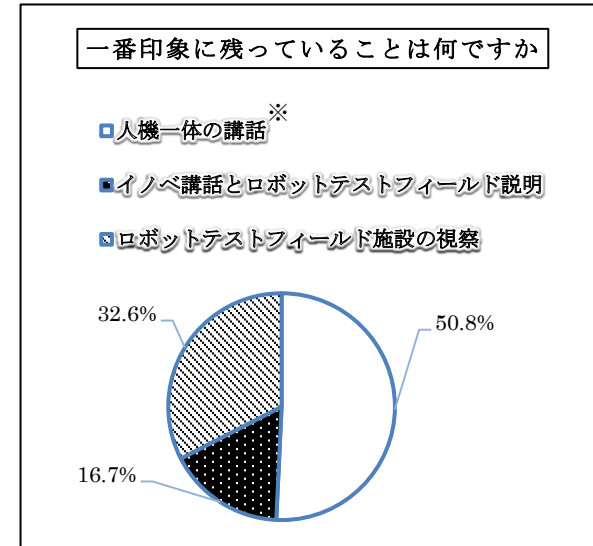
- ・震災を過去のものとせず、今どう生かせるかという姿勢が見られた。
- ・福島県の中にある大学だけではなく県外の大学も、福島の復興のために色々な大学が福島県内の小中高生とプロジェクトを行っているということを初めて知ることができた。

- ・大学が作っている食べ物を実際に食べたり、学生本人からプロジェクトについての説明を聞いたりして、イノベーション事業を身近に感じることができた。
- ・自分が興味を持てなかった分野にも視野を向けることができるようになった。今後の課題研究の発表の参考にする。
- ・他県の方に福島の魅力を知ってもらうため、まず、私達から福島についてよりよく知っていきたくて持った。

ロボットテストフィールド研修の感想より



- ・人機一体の講話を聞いて、最先端技術の凄さを知った。ずっと画面越しで見ていることがこうして現実でも実行できていることに驚いた。
- ・人が操作するロボットを作ることで、インフラの現場での作業をより良くしていることを知った。
- ・これから先、生きていく中で視野を広く持ち、常に新しさに適応できるような知識をつけていこうと思う。
- ・人機一体のロボットがとても格好良かった。少しずついいから、このようなロボットが社会に普及し始めたら面白いだろうなと思った。



※株式会社 人機一体 (<https://www.jinki.jp/>)